



てんねんざん すいこうじ
天然山瑞光寺 (大阪市東淀川区瑞光2丁目2番2号)

しょうとくたいし そうけん つた さんぼうじ ぜんせいじだい どうう ぞく
 聖徳太子創建と伝えられ、三宝寺の全盛時代に堂宇のひとつに属した
 りんざいしゅう ぜんでら けんむ ねんかん ねん ころ かさい あ
 臨済宗の禅寺でしたが、建武年間(1334~1336年)の頃に火災に遭って、
 たてもの のこ しょうしつ かんえい ねん ねん りんざいしゅう そうてんねん しげつじ
 建物が残らず焼失しました。寛永20年(1643年)臨済宗の僧天然が指月寺

な ふっこう きょうぼう ねん ねん げんざい てらめい
 と名づけて復興。享保14年(1729年)現在の寺名になりました。

ほんぞん かんぜおんぼさつ じでん しょうとくたいし さい とき きざ つた
 本尊は観世音菩薩で、寺伝では聖徳太子が42歳の時に刻まれたと伝えら
 れています。この観音は安産の靈験で知られ、第二次世界大戦前は毎月18
 にち れいさい もんぜん いち た おお にぎ い
 日の例祭には門前に市が立って大いに賑わったと言われます。

しょうわ ねん ねん がつ か おおさかだいこうしゅう ほんぞん じゅういちめんかんのん
 昭和20年(1945年)6月7日の大阪大空襲により、本尊の十一面観音を
 のぞ ごうか どうとう たらん じほう いっさい しょうしつ しょうわ ねん
 除いて、豪華な堂塔伽藍から寺宝にいたる一切が焼失しましたが、昭和59年
 ねん さいけん げんざい
 (1984年)に再建され、現在にいたっています。

みな えほん よ こ いっしょ ふきん さんさく
 皆さんも、絵本を読まれたあと、お子さんと一緒に付近を散策してみ
 はいかがでしょうか。

すいこうじ けいだい こうさいち か しょうわ ねん ねん しょうわ ねん
 《瑞光寺のくじら橋》について

すいこうじ けいだい こうさいち か しょうわ ねん ねん しょうわ ねん
 瑞光寺の境内の「弘済池」に架かっている橋を見て、驚かない人
 はいないでしょう。ましてや、それがくじらの骨で出来ていると知
 ればなおさら。

これが全国でも例のない「くじら橋」で、橋板こそ切石(古くは
 しょうしつ しょうしつ しょうしつ しょうしつ しょうしつ
 橋板もくじらの骨でできていた。)ですが、左右の欄干はすべてくじ
 らの骨を使っているのです。

さらに「雪鯨橋」の名称は、くじらの骨が真っ白ということか
 ら潭住知忍禅師によって名づけられました。ご詠歌には「諸人の願
 ひをかくる鯨橋 直ぐなる心渡し給はむ」とあります。

また、当地方で著名な古文書「撰津名所図会大成」では「難波一州
 の名奇なり」と激賞されています。

現在のくじら橋は、昭和49年(1974年)に和歌山県太地町の協力
 を得て架け直されたものです。

